

障がい者スポーツの拠点づくりへ決意を語る ～道庁での留学体験発表会～



H30.10月に開催された「北海道民間協働週間・ランチタイムセミナー」(道主催)で、スポーツコースでアメリカに海外挑戦した北海道メディカルスポーツ専門学校専任教員 齊藤雄大さんが留学体験発表を行いました。

約70名の来場者を前に、日本とアメリカの障がい者スポーツを取り巻く環境の違いやアメリカで障がい者の方がスポーツに参画しやすくなっている理由など、研修の成果を発表しました。

また、齊藤さんの目指す障がい者スポーツの「拠点」とは、施設のみではなく、普及や育成などに必要な活動をすべて賄えるものであり、「北海道に障がい者スポーツの拠点を築く」という夢の実現に向かって歩いていくとの決意を語っていました。

道産食材を活かすため新たな挑戦へ！

～札幌市民交流プラザ・DAFNE料理長に就任～



未来の匠コースでフランスの老舗三つ星レストランなどで修行した古里裕之さんが、H30.10月に札幌市民交流プラザ2階に開店したレストランDAFNE(株式会社アトリエ・モリヒコ経営)の料理長に就任しました。

帰国後から古里さん自ら全道の農家、漁港、畜産家等の方々のもとへ足を運び、野菜、魚、肉、ワインなどこだわりの道産食材を厳選。

特に「羊」にはこだわり、道内の3つの牧場と契約した羊肉を、フランスで学んだ酸や発酵、色の力を活かした一皿に創り上げています。

今後は、畜産家の方などとも連携して、素晴らしい道産羊と道内酒造会社の酒粕・酒麴、フランスで学んだ発酵の力を活かした料理を創作するため、さらなる研鑽と挑戦への意欲を高めています。



道立三岸好太郎美術館でダンス公演決定！

～三岸作品とダンス&ヴァイオリンの共演～



文化芸術コースでアメリカにダンス留学した西野留以さんが、H31.1月に「道立三岸好太郎美術館」で、留学成果を発表するダンス公演を行うことが決定しました。

ヴァイオリニストの林ひかるさんとコラボレーションし、三岸好太郎の作品をイメージしたダンスを披露します。

[公演日時]

平成31年1月12日(土)
午後1時～、午後2時～(各回30分)

[公演場所]

道立三岸好太郎美術館
※美術館の観覧料が必要です